

<研究論文>

海上保険における因果関係についての省察

明治学院大学名誉教授 松島 恵

目次

- 1・はじめに
- 2・因果関係説
 - 2.1 近因説
 - 2.2 不可避説
 - 2.3 自然成り行き説
 - 2.4 蓋然説
 - 2.5 相当因果関係説
- 3・因果関係の各種形態
 - 3.1 因果関係の各種形態
 - 3.2 前後継起的因果関係
 - 3.3 補完的因果関係
- 4・おわりに

イタリア法における **per conto** 契約の法的性質

京都産業大学 今井 薫

目次

- はじめに
- I. イタリア破毀院連合部 (Corte Suprema di Cassazione, Sezioni Unite) 2002 年 4 月 18 日の判決
 - (1) 事実の概要
 - (2) 連合部判決への経緯

(3)上告人の主張

(4)連合部判決の要旨

II . イタリアの学説

(1)チェーザレ・ヴィヴァンテの見解

(2)アンティゴノー・ドナーティの見解

(3)アントーニオ・ラ・トルレの見解

III. イタリアにおける「他人の計算による保険契約」の理解

—生命保険における per conto 契約—

保険会社の企業形態に関する経済学的分析 ——所有権理論の視点から——

一橋大学大学院商学研究科後期博士課程 姜 英英

目次

1・はじめに

2・先行研究レビュー

3・Hansmann の所有権理論：企業形態の相対化

3.1 組織経済学の展開

3.2 所有権理論のフレームワーク

3.3 所有権理論の限界と特徴

4. 所有権理論と保険産業における企業形態

4.1 一般事業における企業形態と保険事業の特質

4.2 歴史条件の変化と企業形態の変遷

4.3 相互会社形態の存続可能性

4.4 保険会社における所有権に伴うコスト

5. 終わりに

不実申告免責規定の理論的根拠と解釈 — 保険法の下における考察 —

藤原 晴美

目次

はじめに

第1章 保険法の情報の非対称性に関する立場—告知義務規定の検討

第1節 保険者免責となる告知義務違反

第2節 保険者免責の制裁性

第2章 保険法上の保険事故発生後の情報の非対称性に関連する規定

第1節 調査妨害規定（21条3項）

第2節 請求詐欺を重大事由とする解除に関する規定（30条2号・31条1項・2項3号）

第3章 不実申告免責規定の理論的根拠と解釈

第1節 不実申告免責規定に関する裁判例

第2節 情報の非対称性利用の不当性

第3節 不実申告免責規定の理論的根拠と解釈

第4節 不実申告免責規定の有効性

<研究ノート>

損害保険産業（1960—2000）の生産構造

元損害保険ジャパン 青木 宏一朗

目次

はじめに

1 損保産業生産額の推移と市場構造（商品構造）

（1）保険の生産額とは

(2) 生産額の推移

(3) 生産額と正味収入保険料(正味収保)

(4) 損保市場の流れを作った商品的な背景

(5) 実質生産額の推移

2 損保産業の生産構造

(1) 生産関数の計測

(2) 生産額と生産要素の関係の変化

(3) 期別生産関数の計測

(4) まとめ(損保産業の生産構造)

<判例研究会>

自賠法 3 条における運行供用者性と共同運行供用者の他人性

福岡大学 佐野 誠

税理士職業賠償責任保険につき、約款改訂前に生じた税制選択上の過失に関し、改訂後の税理士特約条項 5 条 2 項が適用されるとして保険者が免責された事例

平沼高明法律事務所 弁護士 平沼 大輔

<損保総研事業活動の報告>

2009 年度上期調査・研究報告サマリー

(財)損害保険事業総合研究所 研究部

目次

「欧米主要国における ERM(統合リスク管理)およびソルベンシー規制の動向について」

損保総研レポート第 89 号(2009 年 9 月)サマリー

(財)損害保険事業総合研究所 研究部

目次

「消費者保護とその実効性を担保するための諸制度について」 / 主席研究員 秋葉 勝敏

「ハリケーン損害に直面する米国フロリダ州の損害保険業界ーステート・ファーム・フロリダ社の撤退問題を
中心としてー」 / 主任研究員 佐藤 智行